

◆ファミリー・フレンドリー企業賞

<大手企業の部（従業員数 1,000 人以上）>

日本ガイシ株式会社

所在地：名古屋市瑞穂区

業種：製造業（電力関連機器等の製造販売）

従業員数：4,534 名

育児・介護・疾病治療の3本柱で従業員の仕事との両立を支援

本質の追求、無駄の削減、効率の向上を掲げ、トップダウンで取組を全社展開

1 仕事と生活の調和の推進に対する姿勢

- 平成 21 年の育児・介護休業法改正をきっかけに両立支援制度の拡充を開始。人事部内に設置の「ワークライフバランス推進チーム」を中心に制度拡充に加え、従業員への情報提供などの両面から従業員のキャリア継続・活躍の取組を実施
- 平成 28 年度から、トップダウンの全社プロジェクトとして、無駄を削減して空いた時間をより本質的な業務に使う「E³（E-Cubed）活動*」を各本部長等が部門ごとに方針を掲げて展開

*Pursuing our Essence（本質の追求）、Eliminating Waste（無駄の削減）、Increasing Efficiency（効率の向上）

2 労働時間低減の取組

- 年次有給休暇は年間最低 6 日取得をルール化。年 2 回、取得状況を全社各部門の所属長に展開、フォローを実施。取得率は 5 年以上連続 6 割超
- 時間外労働の上限時間等をルール化し、社内外に周知
- 毎週水曜日・金曜日をリフレッシュ・デーとして、社内アナウンス放送等を行い、定時退社を奨励
- 「E³活動」として、各部署が具体の取組（IT 活用による効率化、脱会議等）を実施し、社内報等で各部門の取組内容を報告・見える化

3 安心して子育てや介護ができる職場づくりのための取組

- 育児短時間勤務：小学校 4 年生になる 4 月度まで。6 時間勤務（4 パターン）7 時間勤務（3 パターン）から選択
- 所定外労働の免除：中学 1 年 4 月度まで
- 未消化の年次有給休暇（35 日を上限に積立可）を不妊治療、家族の看護等に加え、生後 8 週間以内の子にかかる育児休業への使用を可能とし、男性の育児参画を支援
<利用状況：年 7~12 名程度（積立有給を含め最大 487 日の男性育休取得実績有>
- 休業前の 3 者（人事・上司・本人）面談で、制度説明に加え、キャリアプランをフォロー
- 介護休業：通算 1 年<利用状況：最大 134 日の取得実績>
- 介護との両立支援制度として、フレックス勤務、短時間勤務に加え、週 3 日勤務を導入
- 経済支援として、介護支援一時金（15 万円）、介護休業支援金（月 5 万円）を支給。一時金申請者へのアンケートにより介護に直面する従業員の意見・要望を把握
- 介護に対する不安を解消するため、心構え、介護保険・サービス、会社の制度、従業員の介護体験談等を掲載した「私と家族の介護ハンドブック」を作成

4 その他の取組

- 仕事と疾病治療との両立支援制度として、フレックス勤務、短時間勤務、週 3 日勤務等を整備